



## ロードスター

新型コロナウイルスのため様々な影響が出ているところではありますが、長年愛用していた車の買い替えが必要となり、カーディーラーへ行ってきました。私は2008年より米国に在住しており、日本のカーディーラーの現状はわかりませんが、米国での車の購入はなかなか面白いと思うため、今回の話題として選びました。

私が在住するワシントンDC首都圏（ワシントンDCとその周囲を取り巻くメリーランド州及びヴァージニア州の一部によって構成されています）を走る車を見ていますと、半分以上が日本のメーカー製といった感じで、日本車が米国において高評価を得ていることが体感できます。

買い替えるならもちろん日本車なのですが、その中でもとりわけ「いつか欲しい…」と思っていたのが、ホンダのS2000か、マツダのロードスターです。ホンダのS2000は米国では生産が終了されているため、マツダのロードスターを一応見るだけでも、とカーディーラーへ。ワシントンDC首都圏内にも各

地にマツダのカーディーラーがあり、まずはネットで下調べをして、カラーのチョイスが豊富そうなディーラーを選択。そのディーラーは首都圏から少々離れたところにあるため、古い車でノロノロと運転して向かいます（あちこちにカーディーラーがあるといっても、たいていは車で行かないといけない場所にあるので、車がない人はいったいどうするんでしょうか?）。

さて、カーディーラーは新型コロナウイルスのため閑散としてはいるものの、エッセンシャルビジネス扱いで（生活必需品ということなのでしょう）通常どおりの営業が認められています。特に郊外に位置しているディーラーは広大な敷地を有しており、値札が貼られた新車がずらっと並んでいて壮観です。自転車を買うような感覚で見て回り、その場で選んでそのまま乗って帰るとというのが基本的な仕組みです。お目当てのロードスターだけでもかなりの台数がありましたが、一台だけ昨年モデルでセールされていました!! 私の場合、買いに来たというよりも見に来ただけ



Dog Driver



新車が並ぶカーディーラー



メリーランド州の紙タグ（サンプル）

だったのですが、魅力的なプライスに動揺してしまいます。そこへすかさずディーラーのおにいさんが「テストドライブしてはどう？」とやって来ます。テストドライブには面倒な手続きもなく、そのおにいさんが同乗するわけでもなく、周辺を好き勝手に走り回ることができました。

値段よし、走りもよし、自分としては予想外の展開でしたが、思い切って即買いすることに。ディーラー側は手慣れたもので（本当に自転車を買うくらいな雰囲気です）、支払い方法の確認や保険会社とのやり取りなどが手早く行われ、その場で古い車の下取りも完了、はいどうぞという感じで新車にそのまま乗って帰ります。ナンバープレート（これは米国ではあまり通じないようで、「タグ」と呼ばれることが多いようです）はどうするのかと思われるでしょうが、ディーラーからその場でもらえる紙のタグ（！）をペタッと貼り、正式なものは後に州政府の担当部門から送られてくる仕組みとなっています。

このように予想外の早さで、イヌもよろこぶロードスターを手にするようになりました。ちなみに、日本ではマツダ・ロードスターが正式名称のようですが、米国ではその名称は用いられていません。アメリカ人によりますと、「ロードスター (roadster)」は二人乗りオープンカーを意味する一般名称だそうで、日本で車の商標名を「オープンカー」とするような妙な感じがするそうです。米国で



車の自動販売機

の正式名称はMX-5ですが、ユニークなのはニックネームとして「ミアータ (Miata)」と呼ばれていて、意外とこのニックネームの方が使われていることです。アメリカ人の発音を聞いていると、私には「ミヤタ(宮田?)」にしか聞こえないのですが…。

米国において車は生活に欠かせない必需品であり、買い替えも頻繁に行われるためか、このように車の購入は簡単です（お金があればです）が、最近はさらに合理化されてきているようです。中古車市場ですと、ネット通販もさかんですし、ついには車の自動販売機も登場して話題になりました。Carvanaと呼ばれる会社で、私が住むエリアにもできました。新型コロナウイルス問題は、米国をはじめ各地に様々な影響を与えていますが、新たな発想で開拓していくアメリカ人はこれを機にますますユニークなものを見せてくれるかもしれません。

### 筆者紹介



#### 加藤奈津子（かとうなつこ）

世界各地に展開するUnited GIPsの米国グループ事務所 United IP Counselors, LLC代表。米国パテント・エージェント。京都大学法学部卒業。ワシントンDCのジョージワシントン大学大学院にて米国知的財産法の修士号を取得するとともに、パテント・エージェント受験資格を得るに十分な技術系の単位を米国の大学にて取得。趣味はスポーツ観戦。ワシントンDC近郊在住。